



創立

70

周年記録誌

社会福祉法人仙台市社会福祉協議会





## 設立70周年記録誌の発刊にあたって

社会福祉法人仙台市社会福祉協議会  
会 長 山 浦 正 井



仙台市社会福祉協議会は、戦後復興期の昭和26年に、市町村社協としては全国的に見ても比較的早い時期に設立され、本年で72年を迎えることになります。

顧みますと、仙台市における地域福祉をはじめ広く福祉の進展に向けた官民の永年にわたる取り組みの中で、本会は行政との連携を図りながらも、民間の立場から多くの住民や団体などと共に幾多の運動を牽引し、その中心的な役割を担ってまいりました。

この間、ご支援いただいていた仙台市をはじめとする行政機関はもとより、物心両面からお支えいただいた関係機関・団体そして個人の皆様には、改めて感謝申し上げます。

本会が歴史を刻んでまいりました昭和・平成そして令和という70余年の時代を、ほぼ同じように生きてきました私自身にとりましても、本誌の発刊は感慨深いものがあります。

本会には、これまでの自身の歩み・沿革を取り纏めたものがなく、今回の編纂にあたっては、過去の経過—とりわけ任意団体としての設立から社会福祉法人に移行するまでの古い時期の資料の多くが散逸しており、探し当てた資料をつなぎ合わせいくという困難な作業から始まり、担当職員には大変な苦勞を強いてしまい、そうした事情もあり当初の予定より遅れての発刊となってしまいました。記録誌としては、一部時期や人名などが判明しないところもありますが、事情ご推察のうへご容赦いただければ幸いです。

本誌を通して、歴代役職員の諸先輩の皆さんが、その活躍されていた時代時代の福祉課題などに、正面から取り組まれ、ご苦勞されてきた様子を垣間見ることができます。このことは、現在そして将来の社協事業を担う私ども後輩にとって、極めて大きな激励と勇気を与えてくれます。

本会が発足した戦後復興期と現在を比較すれば、確かに物は豊かになり生活環境は大きく改善されてきていますが、当時は貧しいながらも、住民相互の繋がりや支えあいの意識が色濃く存在していたように記憶しています。その後の経済発展と社会状況の変化の流れを受けて、とりわけ都市においては人口の増加と地域住民の流動性の高まりもあり、地域での近隣関係も希薄化が進み、また、それを望むような生活スタイルが尊重されてきたようにも思えます。

こうした中で、今改めて「地域共生社会」という言葉に象徴されるような「まちづくり」が標榜されています。70年という一つの区切りとなる時期にあたり、私たち社協という存在がこれからどのような使命をもって地域と関わっていくべきかを、過去に学び原点回帰しながら、今日的な役割期待に応え得るしっかりとした態勢づくりの良き機会としてまいりたいと考えています。



## 創立70周年に寄せて

仙台市長  
郡 和子



社会福祉法人仙台市社会福祉協議会が創立70周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

振り返りますと、貴会は昭和26年に創立され、旧宮城町及び旧泉市社会福祉協議会と合併し、その後各区に設置された社会福祉協議会と平成27年に組織統合して現在に至っています。このような経過もあり、市全域の一体性を図りながらも、各区・支部の特色ある活動を展開されているものと存じております。

この間、昭和43年から地区社会福祉協議会の結成を進められ、現在、その数は104に及びます。貴会は小地域福祉ネットワーク活動の事業等により各地区の活動を力強く支援し、住民主体の地域福祉活動の支援に尽力されてきました。

地域の支え合い、助け合い活動の蓄積は、平成23年3月の東日本大震災において大いに生かされました。貴会においては発災直後から災害ボランティアセンターを設置運営され、また、被災者の生活再建支援、地域コミュニティ再生のため、「地域支えあいセンター事業」を通じて継続的な訪問活動やサロンの開催等に取り組んでこられました。

被災された方々と向き合い、地域での見守りや、交流の場づくりに取組まれてきたノウハウは、各地域での地域課題解決の取り組みに生きているものと実感しております。

近年、社会的孤立や貧困、引きこもりなど福祉ニーズは多様化しております。その中であって本市では、このまちには自分の居場所があると実感していただけるよう取り組みを進めているところです。貴会がこの70年の歩みの中で築いてきた地域との信頼関係やネットワークと、地域の課題にきめ細やかに応える力が、その大きな推進力となることをご期待申し上げます。

令和3年3月に策定された貴会の第5次地域福祉活動計画と、本市の地域福祉計画「仙台支え合いのまち推進プラン」は車の両輪の関係にあるものです。両計画がともに掲げる、「誰もが互いに尊重しあい、孤立することなく、自分らしく安心して暮らせる地域をみんなで作る」という目標に向かい、引き続き、歩みを共にしていただきたくお願いいたします。

最後に貴会の活動が地域の中で一層の輪を広げ、今後益々発展されますこと祈念いたしまして発刊のお祝いとさせていただきます。



## 設立70周年記録誌の発刊を祝して

社会福祉法人宮城県社会福祉協議会  
会 長 加藤 睦男



このたび、社会福祉法人仙台市社会福祉協議会が設立70周年を迎えられましたこと、心からお喜び申し上げます。

仙台市社会福祉協議会は、昭和26年に設立されて以来「一人ひとりの市民が、その人らしく地域で安心していきいきと暮らせる福祉のまちづくり」を基本理念に掲げ、地区社会福祉協議会や町内会、民生委員児童委員などの地域の福祉団体・施設やボランティア等と協力しながら、行政機関等と連携して市域における様々な社会福祉事業を展開され、地域福祉の向上に大きく貢献されてこられました。関係者の皆様に対して、改めまして深く敬意を表する次第です。

我が国では、急速な少子高齢化や人口減少が進行し、介護や子育てニーズの増大、生活困窮、社会的孤立など、複雑かつ多様な課題が増加していることに加え、長引く新型コロナウイルス感染症の影響で、深刻な生活不安や経済的な困難を抱える人が増えています。このような社会情勢の中、仙台市社会福祉協議会では時代の変遷とともに地域住民の皆様への課題に対応しながら活動されておられ、また、国が掲げる「地域共生社会」の実現に向けても、着実に歩みを進めておられます。

宮城県社会福祉協議会といたしましても、仙台市社会福祉協議会との連携を一層強化して、地域住民とともに、「誰もが身近な地域で安心していきいきと暮らせる地域づくり」に取り組み、地域福祉の推進に最大限の努力を重ねて参る所存です。結びに、仙台市社会福祉協議会の益々の御発展と、関係各位の今後ますますの御活躍と御健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



## 設立70周年を祝して

仙台市民生委員児童委員協議会  
会 長 大内 修道



この度、仙台市社会福祉協議会が設立70周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

昭和26年の設立以来、長年にわたって仙台市社会福祉協議会が地区社会福祉協議会や福祉関係機関・団体と連携・協働し、仙台市における地域福祉活動の推進に多大なる貢献をされましたことに敬意を表します。

未曾有の被害をもたらした東日本大震災では、被災された方々の一日も早い生活再建が課題とされました。社協のコミュニティソーシャルワーカー等の働きかけにより、われわれ民生委員児童委員や町内会、地域の諸団体と住民の方々がつながり、課題を抱える世帯への支援や地域コミュニティ支援が実施され、今日においても、ともに支え合いながら安心して暮らしていける地域づくりが進められています。

また、令和2年から続く新型コロナウイルス感染症の影響を受け、社会的孤立や生活困窮などが増加し、地域社会が抱える課題の深刻化が懸念される中、感染予防対策のために様々な制約を受けながらも、創意工夫を凝らし、支援を必要とする方を支えるための活動が各地で取り組まれています。仙台市社会福祉協議会による「新たな地域のつながりづくり」を後押しする心強い支援となっています。

民児協と社協は、地域共生社会の実現という共通の目的を持って、ともに取り組みを進めていくことが重要となります。

人と人とのつながりの大切さが再認識される今日、仙台市民生委員児童委員協議会といたしましても、「誰もが笑顔で、安全に、安心して暮らせる社会づくり」のために、住民に寄り添った活動に努めて参ります。

結びに、仙台市社会福祉協議会が地域福祉推進の要として、今後、更なるご活躍をされ、ますますご発展されることをお祈り申し上げまして、お祝いのことばいたします。

# 目次

社会福祉法人仙台市社会福祉協議会 創立70周年記録誌

あいさつ	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会	会長	山浦正井
祝 辞	仙台市長		郡 和子 様
	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会	会長	加藤睦男 様
	仙台市民生委員児童委員協議会	会長	大内修道 様

## 目次

<b>第Ⅰ章 70年のあゆみ(総論)</b> .....	1
設立から法人認可まで(昭和20年~30年代)	
地域福祉の基盤強化(昭和40年代~)	
政令指定都市社協への移行(昭和60年代~平成初期)	
新たな制度への対応(平成10年代~)	
震災への対応と復興に向けた支援(平成23年~)	
法人の一体化(平成26年~)	
地域共生社会の実現に向けて(平成28年~令和)	
<b>第Ⅱ章 70年のあゆみ(分野別)</b> .....	27
<b>1 地域福祉分野</b> .....	29
地区社会福祉協議会の設立と活動展開	
小地域福祉ネットワーク活動	
地域福祉活動計画(せんだいaiプラン)	
コミュニティソーシャルワーカーの配置展開と相談援助業務	
社会福祉センター	
福祉プラザ	
<b>2 ボランティア分野</b> .....	57
ボランティア活動の推進	
福祉学習(福祉教育)の推進	
災害ボランティア	
<b>3 生活支援分野</b> .....	75
低所得の方の自立支援のために(各種貸付事業)	
日常生活自立支援事業(まもりーぶ)	
成年後見総合センター	
<b>4 高齢者福祉分野</b> .....	87
老人福祉センター	
通所介護事業所(デイサービスセンター)	
居宅介護支援事業所(ケアプランセンター)	
地域包括支援センター	
介護サービス相談員派遣事業	



5	障害者福祉分野	101
	泉障害者福祉センター(管理運営・自立訓練(機能訓練)事業)	
	泉ふれあいの家(生活介護事業・就労継続支援(B型)事業)	
	泉ひまわりの家(生活介護事業)	
	障害者相談支援事業所(ふらっと青葉・ふらっと泉)	
6	福祉職員研修分野	113
	社会福祉法人・施設職員研修	
	地域包括支援センター職員研修	
	保育士等職員研修事業	
7	福祉団体事務受託分野	119
	仙台市共同募金委員会	
	日本赤十字社宮城県支部仙台市地区本部	
	仙台市民生委員児童委員協議会	
	仙台市ほほえみの会(里親会)	
	仙台市遺族会	
	仙台市老人福祉施設協議会	
	仙台市地域包括支援センター連絡協議会	

---

第Ⅲ章	思い出アルバム	129
①	主な出来事・写真	131
②	退職された先輩のお話	136

---

第Ⅳ章	特集「3.11東日本大震災への対応」	145
-----	--------------------	-----

---

第Ⅴ章	資料編	157
○	終了した主な事業	159
	生活(心配ごと)相談所、家庭奉仕員派遣事業等、愛の訪問員派遣事業、福祉バス 運行事業、乳酸菌飲料支給事業、在宅介護者の集い(リフレッシュ事業)、障害者 権利擁護相談「障害者110番」、ホームレス巡回相談事業・路上生活者等支援セン ター、母子家庭等就業・自立支援センター	
○	法人の設立趣意書・定款	164
○	70年のあゆみ(沿革年表)	166
○	歴代会長・副会長	173
○	現在の理事・監事・評議員(令和5年3月31日現在)	175
○	組織の変遷	177